責任を持つ大切さ

富士市立富士南中学校　一年　柿島結梨

私は家で犬を一匹飼っています。散歩も毎日つれていって、エサもあげて、水もこまめに替えてあげて、家の外と家の中に一つずつ犬専用のハウスを作ってあげて心地よい生活ができるような環境を愛犬に対して、造ってあげています。しかし、今この世の中には、『捨て犬・捨て猫』のような飼い主がいない動物、または虐待されている動物などがいるということを、私はよくテレビなどで耳にします。実際に私も捨て犬・捨て猫に遭遇したことがあります。そして、一目見て誰でもすぐ分かることが一つあります。それは、エサや飲み水がないためか、とても痩せ細っていることです。でも、こんなになるまで動物達をおいつめたのは、無責任な人間のせいだと私は思います。虐待されている動物だって同じことです。すべての原点は人間にあると思います。『ペット』とは、かわいがっている

動物のことを言うと思います。

字で『愛』していると『犬』と書くように、愛犬『は漢

していると動物こそが『ペット』という存在だ

と思います。しかし、『かわいがる』や『愛

する』という言葉には、深い意味があると思

います。この二つの言葉を軽く考えてみると

実行するのはとても簡単なことに思えてみると

います。でも、深く考えてみると、軽く考え

た時とはちがいます。私達人間が動物に対し

て、『かわいい、かわいい』と思ったり『愛

している』と思ったりするのは、とても良

いことだと思います。だけど、それはかわい

がったり、愛することとはちがって、言葉だ

けど、『責任を持つ』ということがこと

です。どんなことをするのにも、責任を持つ

ことは、大切なことだと思います。今、捨て

犬や捨て猫、虐待されている動物達は、なに

も悪くないと思います。悪いのは、動物だか

ら と言って、責任を持たずに適当に飼った人

間です。人間だって、犬や猫などといっしょの動物です。犬や猫だからといって責任を持たないのは、差別です。そういう人間こそ、自分達がこんなことされたら…、と考えるとそんなの耐えられない、と言うと思います。これから、捨て犬や捨て猫など、人間達にひどいことをされる動物を減らすために一番大切なことは、『責任を持つ』ことです。なので、これから差別なんてことをせず、人々の誰もが、責任を持つ大切さに気づき、みんなと一体になりよりよい生活を築いていきたいです。そのために、私も家で飼っているペットを責任を持って、最後まで育てようと思います。